



めざそう！なりたい自分

こちら鹿児島市小野町 武岡台特別支援学校 進路指導情報局

令和5年度第1号

令和5年10月16日
鹿児島県立武岡台特別支援学校
進路指導係

☆「めざそう！なりたい自分」

令和5年度、校名の変更や鹿児島南特別支援学校開校に伴う児童生徒数の減などありましたが、本校の進路指導キャッチフレーズは変わらず、「めざそう！なりたい自分」です。児童生徒一人一人の豊かな自立と社会参加、自己実現を目指し、本人を真ん中に置きながら、学校・家庭・地域で連携して取り組んでいきましょう！

保護者の皆様へお知らせとお願い

- ① 進路指導室はD棟（高等部）3階第5プレイルーム横に戻りました。



- ・施設パンフレットや企業情報、指導資料などたくさん収集しています。
- ・随時、相談受付中です。

例) どんな施設を見学したらいいの？

研修会でできた〇〇をもっと教えてほしい

〇〇についてはどこに相談したらいいんでしょうか？

☆まずは担任や学年主任にお申し出ください。

- ② 早い時期からの施設見学や研修会などへの参加などをおすすめします。

- ・ 学年、学級、保護者同士、御家族での事業所見学
- ・ PTA主催の施設見学や研修会（本校PTA、県知P連、市P連）
- ・ 地域の中の福祉イベントや事業所単位の見学会、研修会、体験会など

- ③ 本校全教職員で共通理解している今年度進路指導の取組目標が3点あります。以下の内容を確認する機会として、年3回のミーティング、進路相談、連絡帳、日常的な学校・家庭間のやりとりを充実していきたいと考えています。

- ・ 「〇〇さんの将来をどのようにお考えですか？」と必ず保護者との面談で話題にする。
→みなさん、どのように答えますか？ぜひこの機会に御家族でも話題にしてくださいね。
- ・ 「個別の教育支援計画」をもとに、「支援者」と「役割（すること）」を確認して実際に取り組む。
→「支援者」である学校（担任）、家庭（保護者）、放デイ事業所担当、相談支援専門員、医師など児童生徒と関わる人を明らかにして、その支援者が具体的にすることを確実に確認しましょう。また、年度末にはその取組ができたか評価（振り返り）をしましょう。
- ・ 児童生徒一人一人の「できること」「むずかしいこと」「支援があればできること」を支援者間で共有できるよう、話し合ったり確認したりする。

小学部より

小学部段階で、「子どもの将来についてどうお考えですか。」と尋ねられても「まだ先のこと」「よく分からない」「イメージするのが難しい」といった声上がるようです。でもいずれの御家庭でも、小学部から中学部（中学校）、高等部（高等学校）そして卒業後の生活、いずれのステージにおいても子どもたちに充実した生活を送ってほしいと願っていらっしゃるのではないかと思います。国語、算数などの教科学習（教科別の指導）以外の取組の中でも将来の社会生活の充実につながっていくことがあります。今回は小学部高学年の重複障害学級の取組から一例を紹介いたします。

1 日常生活の指導では

- ・ 登校時に教室に入って友達や教師に挨拶をします。教師が明るく笑顔で挨拶することで、児童もより元気な声や笑顔で挨拶をしたり、にこっとステキな笑顔で表現したり、友達や教師にタッチをしたりするなどして、一人一人の伝え方（表現）で挨拶を交わすことができるように取り組んでいます。
- ・ トイレの一連の流れをスムーズに行えるよう、定時排せつの習慣化や自分でできることを少しでも増やすことができるようスモールステップで繰り返し取り組みます。ズボンや下着の上げ下ろしを自分でできるところは行い、難しいところは、支援者に手伝ってもらえるよう、言葉や身振り手振りで伝えるようにしています。
- ・ 給食では、手洗い、テーブル拭き、食器の準備や片付けなど、自分から取り組めることはできるだけ自分でできるようにしています。またバランスの良い食事を取ることで、スプーンや箸を使う、咀嚼、嚥下、ストローやコップで飲み物を飲む、など一つ一つの食事に関することが、健康な体づくりと維持につながります。

挨拶ができる

健康な身体

身辺処理ができる、お願いする

2 遊びの指導では

- ・ 「タイマーが鳴るまで遊ぶ」「友達と仲良く遊びましょう」「使った道具は片付けましょう」など一定のルールや約束を確認して活動に入るようにしています。ルールなどについては、自分たちで気付くことができるよう様々な工夫をして示すようにしています（例：片付ける時刻になったら音楽が流れる）。また複数の友達や教師と場を共有したり一緒に過ごしたりすることで、集団の中での望ましい過ごし方や社会性を身につけることができるようにしています。

みんなと一緒に活動する

約束、ルールを守る

決められた時間を活動する

小学部段階では、「自分の身の周りのことが自分でできる」、「友達や教師と一緒に望ましい態度で意欲的に学習や活動に取り組む」、「自分の思いを何らかの手段で伝える（こと）」、「規則正しい生活習慣と健康な体づくり」など、社会生活の基盤となる力を身につけることができるよう、繰り返し取り組む日常生活の中で将来必要とされる力の定着を意識した学習活動を行っています。

最後に、やはりどのような場でも挨拶ができる人が好まれます。改めて家庭や地域の中でもこのようなことを意識した取組について話題に上げていただき、少しずつでも一緒に取り組んでいけたらと思います。（小学部係 石川）

～中学部での進路の考え方～

「あっという間だったけれど小学部・小学校の6年間で、やっとここまで成長できた。」というお話を、以前中学部の保護者の方からお聞きしたことがあります。中学部の進路学習では、将来、働くことや生活することについて考え、行動する力を育てていこうと取り組んでいます。そんな中学部の保護者の中には、「就労継続支援 A 型・B 型って何？どう違うの？うちの子にはどんな進路が合っているの？」そんな「？」をたくさんお持ちの方もお見受けします。

中学部卒業後、高等部に進学すると、産業現場等における実習等を経験しながら、いよいよ進路を決定していくことになります。一人一人の確かな将来に向けたよりよい進路選択のために、情報をたくさん仕入れていきましょう。まだ3年後、6年後だから…と捉えるのではなく、あっという間に3年・6年が過ぎると捉え、どこに（自立して？支援を受けて？）住むのか、日中はどのように過ごすのか、どうやって通うのか等を具体的にイメージしてみると、中学部生の今から準備しておいた方がよいことが見えてくるのではないのでしょうか。御不明・御不安な点は、担任や進路指導係をはじめ、同学年や先輩の保護者の方、相談支援専門員の方など、相談しやすい方に御相談されてみてください。一つずつ具体的に情報を集めていくことで、高等部卒業後のよりよい社会生活につながると思います。

今年度、1学年の保護者の方々から「進路に関する研修会をしたい」というお話をいただきました。とても素晴らしいことだと思います。中学部では、コロナ禍で縮小されていた進路に関する研修会等を再開していきたいと考えています。年度途中での御案内になってしまい恐縮ですが、以下の表のように計画しております。

令和5年度 中学部における進路指導計画

月	進路に関する生徒の主な学習内容	保護者への御案内等
5	総合「自分を見つめる」進路に関する 課題設定活動【全】	進路希望調査 ミーティング(進路相談を含む)
6	総合「お掃除教室」【1年:机上清掃, 2年:自在ほうき, 3年:ダスタークロス※】 前期校内実習【全】 (高)実習激励会視聴【全】 総合「高等部作業学習見学」【3年】 鹿児島高等特別支援学校体験学習会【希】	
7	生単「社会学習」における施設等見学 【2年:1カ所, 3年:2カ所】	(高)事業所等説明会への参加【希】 進路についての学習会(基礎講座) 【1年 PTA 後】
8		(高)職場見学・就労支援セミナー【希】 (高)PTA 進路に関する研修会【希】
10		PTA 施設見学【希】
12	総合「高等部作業学習体験」【3年】	高入学者選考に関する説明会【3年 PTA】
1	後期校内実習【全】 作業学習「販売活動」【全】	
2	高等部入学者選考に向けた学習【3年】	ミーティング(進路相談を含む)
3	総合「自分を見つめる」進路に関する 施設等の調べ学習【1・2年】	進路についての学習会(施設等側から見た 「今つけてほしい力」)【2年 PTA】

※3年生のみ、2年次にダスタークロス、3年次に自在ほうきを学習

【希】:希望者対象, 【全】:全学年対象

中学部 「なりたい自分」になるための、働く力を身に付ける取組

○ お掃除教室

毎年、6月に行われているお掃除教室。働く上での態度や、清潔で整理整頓された環境を保つことの大切さについて学習する機会として取り組んでいます。1・2年生は、高等部進路指導主任を講師に招き、机上清掃や自在ほうきの扱い方、清掃に関する基本的な技術、働く上での身だしなみ等を分かりやすい言葉で説明していただきました。実際に技能検定に合格した高等部の先輩方に模範を見せていただいたりしたことで、身近なこととして捉えることができていました。

3年生では、コロナ禍で控えていた外部講師を招いた学習を3年ぶりに行うことができ、3年間の総括として、自在ほうきを中心に、机上清掃やダスタークロスの使い方も含め、清掃全般に関する体験活動を取り入れた学習を行いました。学習後、「押し掃きしてトントン」「ちりとりには回し入れる」等、学んだことを自分に言い聞かせながら清掃する様子も見られ、学習効果を感じました。

全学年とも、高等部進学後にある技能検定やアビリンピック等を見据え、正しい道具の持ち方や清掃の順番なども、細やかな指導をしていただきました。「きれいにしよう！と思う気持ちが大事」「掃除上手は仕事上手」等、生徒の心に残るキーワードもあり、「なりたい自分」になるために、また一歩前進できたのではないのでしょうか。



○ 作業学習、前期校内実習

中学部では働くための力を付ける学習として週2回作業学習に取り組んでいます。学習の始めには、必ず作業学習の4つの目標「挨拶・返事・報告をする」「時間いっぱいがんばる」「みんなで協力する」「安全に気を付ける」を全員で読み上げ、意識して作業するようにしています。また、6月には5日間の「前期校内実習」があり、働くことの大変さ等を、体験を通して学習しました。今年度は、「ただ作業学習が一日中あって、それが5日間続く」と思わないように、事前学習で「TTカンパニー（たけとく会社）」の社長である校長先生から各班向けに仕事依頼があったり、事後学習でも納品会を行ったりするなど、『依頼されたことを目標にして、仕事として取り組む』ことを大切に、実習に臨みました。また、事後学習では、出来上がった製品を納品した際に社長からの称賛の言葉も受け、VTRを見ながら自分たちの頑張りを振り返り、達成感を得られたようです。今後も継続して作業学習に取り組み、後期校内実習や製品の販売学習（1月）へとつなげていく予定です。

（中学部主任 米倉）



高等部

「皆さん、社会人として大切なこと」
何か分かりますか??



「実習で頑張ること」
何だろう??

高等部は6月19日(月)～6月30日(金)の期間、2,3年生は企業や障害福祉サービス事業所で、1年生は学校内で実習に取り組みました。それぞれ実習場所は違いますが、「コミュニケーションが苦手なだけでどうも職場の人と話せるかな?」とか「不安すぎて、ネガティブになってしまうんだけど、どうしたら良いかな」など不安と緊張を抱えているのは皆、同じです。そんな中、実習前の6月16日(金)に実習激励会(セミナーの部)として、南国殖産株式会社総務・人事統括部ダイバーシティ推進室室長の稗村孝浩(ひえむらたかひろ)様を講師に迎え、「社会人として大切なこと」について、講話をしていただきました。



「社会人として大切なこと」
社会人とは?＝社会を支える一員
少しずつで良いです。自分ができることにチャレンジしてみましょう。今はまだ社会人になるための準備期間です。自分に何ができるか考えたり、周りの人に相談したりしてみましょう。

「社会人として大切なこと」
仕事とは?＝相手の期待に応えること
仕事を任せられたとき、その人の期待に応えることが仕事です。「これくらいで良いだろう」「これで十分」と自分勝手に思うのではなく、分からないときは質問することも、期待に応えるために大切なことです。

「社会人として大切なこと」
感謝の気持ちを忘れない
私たちはいろいろな人に支えられて生きています。まずは、一番近くにいる人に、「ありがとう」を伝えるようにしましょう。思うだけではなく、カタチにして伝えることが大切です。

「社会人として大切なこと」
健康が基本!健康であることが一番大事!!
睡眠, 食事, 運動など規則正しい生活を心掛けて、仕事ができる体づくりが大切です。

いまメ
ま真モ
す。剣を
。に取
聞
い
な
てが



質疑応答では、質問だけでなく、自分の課題に対して解決するためのアドバイスを求める場面もありました。自分の課題を知ることが、自分の成長につながる第一歩として大切なことです。



「前期産業現場等における実習」～なりたい自分をめざして!!～

校1 内年 実生 習



「なりたい自分」を目指して、いろいろな作業に取り組んでいます。また、身だしなみや挨拶等、働く上で必要な力について習得できるように頑張っています!

2, 現3 場年 実生 習



「自分に合う場所はどこかな?」「たくさん仕事がしたいな。」「ゆっくりする時間もほしいな。」「スーパーで働いてみたいな。」「働くことについて勉強したいな。」それぞれの思いにより実習先も異なります。実習後は実習先からいただいたアドバイスを今後の生活に生かし、「なりたい自分」に近付けるように学校と家庭でサポートしていきます。

(高等部係 上別府)

鹿児島県障害者技能競技大会「アビリンピックかごしま 2023」

7月8日（土）11日（月）ポリテクセンター鹿児島及び鹿児島ホテル短期大学校（鹿児島市）で開催されました。障害のある方が日頃培った職業技能を競う大会です。今年は、本校高等部から4競技（ビルクリーニング、オフィスアシスタント、写真撮影、喫茶サービス）に6人の生徒が選手として参加しました。また、鹿児島南特別支援学校に転校した生徒や本校卒業生も出場しており、お互いの成長や頑張りを認め高め合うような交流の場となりました。



喫茶サービス B 銅賞 2 年生徒



写真



オフィスアシスタント



ビルクリーニング B

○令和5年度前半期（4月～10月）までの進路に関する学習や取組をピックアップ！



7月6日（木）7日（金）事業所等説明会

今年度も鹿児島市内の福祉サービス事業所や関係機関 80 か所以上の担当者に来校いただき実施しました。高等部生徒・保護者だけでなく、本校中学部保護者、他校高等部生徒、保護者も参加し進路情報の収集の機会として積極的に面談する様子が見られました。各事業所の資料や紹介 VTR は進路室にあります。

同窓会行事（たけのこ会）

本校には同窓会組織があり、同窓会長（H29 年度卒）を中心に総会（7月）、交流会（9月）等を企画しています。今年度の交流会ではボーリングや焼肉の会食等に多数の卒業生が参加し親睦を深めました。



小学部おそうじ学習会（4，5年）

高等部の先生から、机の拭き方、タオルの絞り方、ほうきの使い方などを学びました。「できるようになりたい」という児童の気持ち、ステキな挨拶や返事が印象的でした。

本校で行われた県知 P 連研修会では志學館大学の前野先生から「将来を見据えて今できること」をテーマに講演がありました。参加した保護者同士の交流なども行われ大盛況でした。

また今年度は、中・高等部の保護者から学年単位の学習会なども申し入れがあり実施しています。



県知 P 連研修会



高等部 1 年保護者学習会